

## 平成目安箱への回答 No.9 (通学路の安全点検)

担当主管課：危機管理課危機管理係 内線 241

建設課道路管理係 内線 234

学校教育課教育指導係 内線 340

要望等内容	回答
<p>大阪の地震で小学校の壁が倒れて9歳の子供がなくなりました。大磯町も通学路の点検を行うべきです。</p> <p>気になるポイントは以下です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高麗方面から来るとJRの線路沿いの壁</li><li>・大磯駅自転車置場のそばの石垣</li></ul> <p>何かあってからでは責任は免れない事。 歴史より安全を取る事が大切です。 特に自転車置場の石垣の耐震は何度までですか？ちゃんと把握されてますでしょうか？</p>	<p>町政につきましては日頃より御理解、御協力いただきありがとうございます。</p> <p>6月18日に発生した大阪府北部を震源とした地震では、小学4年の女兒が学校のブロック塀の倒壊に巻き込まれて死亡する、大変痛ましい事故が起こりました。</p> <p>当町ではこの事故を受け、学校施設の安全点検を行うとともに、毎年PTAの協力をいただき実施している「通学路安全プログラム」による通学路の点検項目にブロック塀を急きょ追加し、町職員の目視等による点検と併せて順次点検を進めています。</p> <p>御意見のありましたJRの線路沿いの壁については、管理者である東日本旅客鉄道株式会社に問い合わせたところ、定期的に行っている点検結果により、必要に応じた修繕を行っているとのこと。また、倒壊の危険はありませんが、ひび割れ等が発見された場合、その箇所を削り落とし鉄筋のさび止め塗装を行ったうえで経過観察をしている箇所もあるとの回答をいただきました。</p> <p>駅前自転車駐車場そばの石垣については、石垣が現在の構造基準を満たしていないことなどから、平成20年度と平成27年度に、健全度の調査を行いました。ひび割れやはらみ等の経年変化は見受けられませんでした。また、石垣の耐震性については、地震が構造物に与える影響として、震源地からの距離、地山の土質や力の伝わる方向等、様々な要因が複雑に作用することから、一概にどのくらいの震度まで耐えられるか等の判断は難しいのが実情です。また、大規模な地震だけでなく、局所的豪雨の発生なども重大な事故を起こすリスクとなります。現時点では、引き続き石垣の経過観察等をしっかりと行っている状況にあります。通学路であることを鑑み、教育委員会や学校とも協議し、児童生徒の通行における注意喚起に努めてまいります。</p> <p>また、現在実施している通学路の安全点検の結果を踏まえ、危険と思われる箇所については、順次対応してまいります。また、通学路に限らず、危険な箇所を少しでも減らしていくことで、災害を未然に防ぐことが重要です。引き続き防災対策を進めるとともに、町民の皆さんと一緒に町全体の防災力の向上に努めてまいります。</p> <p>この度は御意見をいただきありがとうございました。</p>

目安箱受付日：H30. 6. 19

掲示日：H30. 7. 12